

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

**補足**

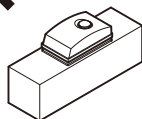
- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

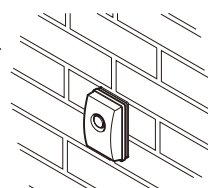
<施工の前に>

**注意**

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 人感センサは柱材または天面板材取付け専用です。
上向き、コンクリート壁、パッキンより小さい取付け面、浴室などの湿気が多い場所、腐食性ガスの発生する場所、振動や衝撃の多い場所には設置しないでください。器具の破損、ショートなどによる思わぬ事故や感電によるケガの原因となります。



上向き設置

パッキン面より
小さい取付け面浴室などの
湿気が多い場所

コンクリート壁

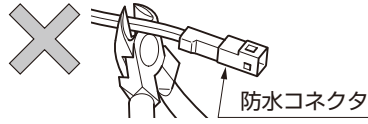
**ポイント**

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 前もって設置場所の確認を行なってください。
- 梱包明細票で必要な部材、部品がそろっているか確認してください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 取付説明書の順序通りに取付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 製品の防水コネクタを切除しないでください。故障や不点灯の原因となります。



<電気配線工事について>

⚠ 注意

- DC12V以外では使用しないでください。過電圧を加えると火災・感電の原因になります。
- 別売りの当社製トランス電源ユニット・照明器具・電源ケーブルと組合わせて使用してください。
- 防水コネクタを切断するなどの加工は行わないでください。故障・感電の原因となります。
- 施工作业中は通電させないでください。故障・感電の原因になります。

■梱包明細表

【1】DC12V人感センサ

| 名称 | 略図 | 員数 |
|--------------|----|----|
| 人感センサ | | 1 |
| エリアカットシール | | 1 |
| 結束バンド | | 2 |
| 取付説明書 <Z586> | - | 1 |

【2】スタンド

| 名称 | 略図 | 員数 |
|--------------|----|----|
| スタンド | | 1 |
| アンカー棒 φ8×200 | | 1 |

■人感センサの動作サイクル

- ・トランス電源ユニットの明るさセンサ機能を使用した場合

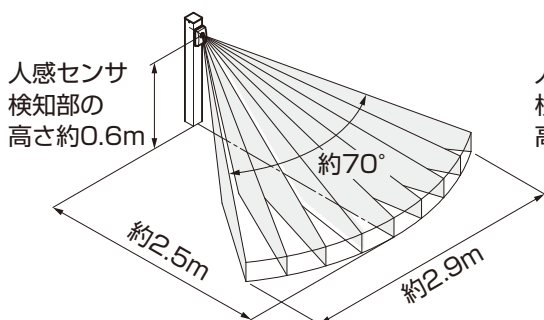


暗くなると照明が30秒間自動点灯します。その後、スタンバイ中に人を感知すると「フル点灯し」、検知範囲に人がいなくなってから30秒間点灯した後に消灯します。

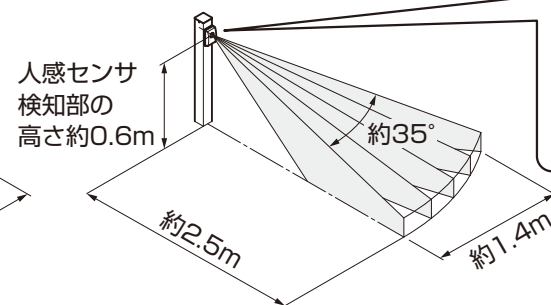
(注：連続点灯への切替不可、点灯時間タイマー調整機能なし、人感センサ(熱線センサ)付き照明との併用不可)

■人感センサの検知範囲

<通常の検知範囲>



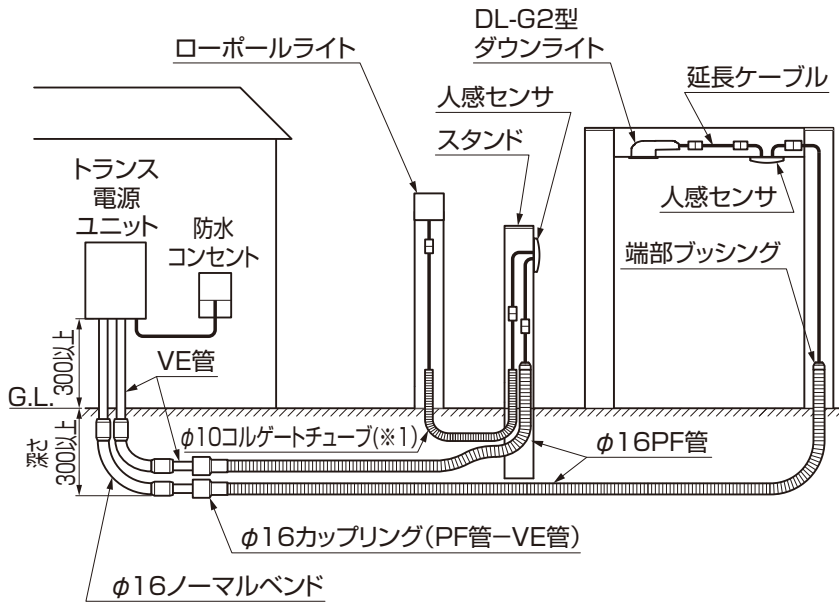
<エリアカットシールを貼った場合>



🔑ポイント

- ※周囲の気温や地面の状態などによって検知範囲が変化する場合があります。
- 人が静止している、夏場などで気温が体温に近づく、センサに向かって近づく場合には検知しづらいことがあります。
- 人以外にも照明器具、車、エアコンの室外機、動物、風で揺れる植栽などを検知し反応することがあります。

1. 配線参考図 ※人感センサ1個に対して、接続する照明器具の消費電力合計は35W以下としてください。



スタンドは地上(土中)配線接続も可能です。地中配管(コンクリートやモルタルで埋設)する場合、埋設管を敷設してください。

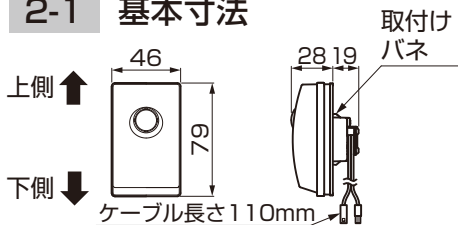
①配線配管をしてください。

ポイント

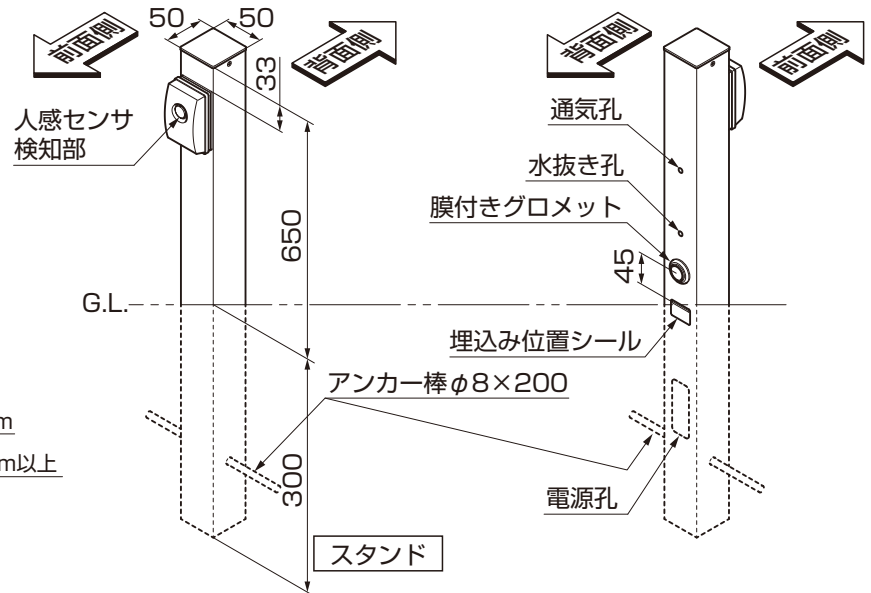
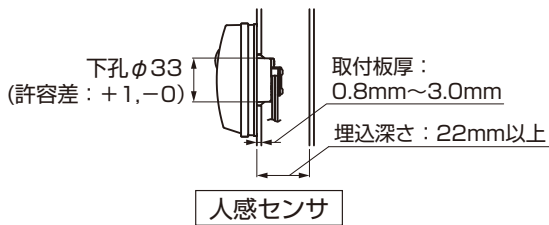
- 人感センサ以降の照明器具はすべてON/OFFされます。
- 埋設管は必要な長さで切り落として、端部ブッシング取付け、もしくはパテ埋めしてください。
- φ10コルゲートチューブは露出および車の通る場所で埋設しての使用はしないでください。(※1)
- トランス電源ユニットの取付けについては、トランス電源ユニットに同梱されている取付説明書を参照してください。

2. 基本寸法と各部の名称

2-1 基本寸法



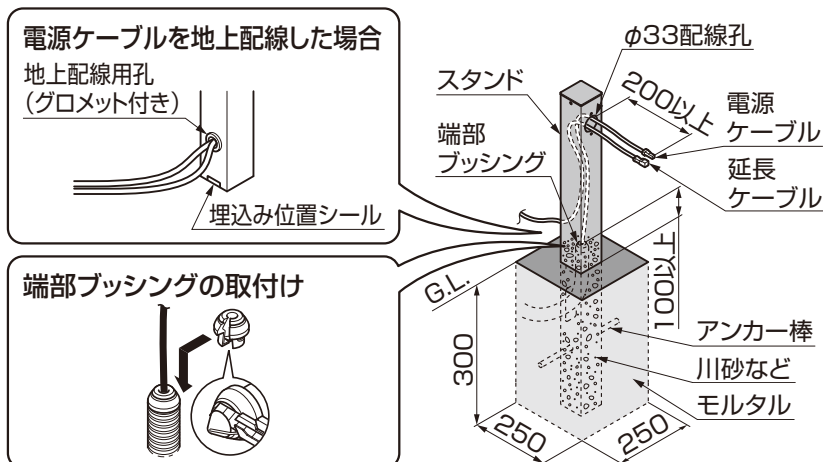
- 施工条件
下図の条件を満たす場合に取付け可能です。



3. スタンドへの取付け

3-1 スタンドの埋込み

※地上(土中)配線の場合、配管工事は必要ありません。

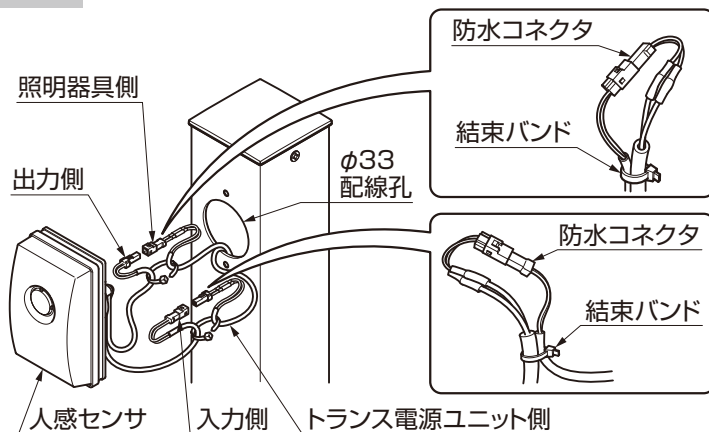


- ①埋設管を立ち上げスタンドにアンカー棒を差込み、垂直に立ててください。
- ②ワイヤーなどを使用して電源ケーブル・延長ケーブルをφ33配線孔から引き出し、埋込み位置シールのG.L.ラインまでモルタルで埋めてください。
- ③スタンドが倒れないように仮固定し、養生してください。

ポイント

- スタンド内に川砂をG.L.より高く埋込んでください。
- 地上線用孔(グロメット付き)はふさがりません。

3-2 人感センサの取付け



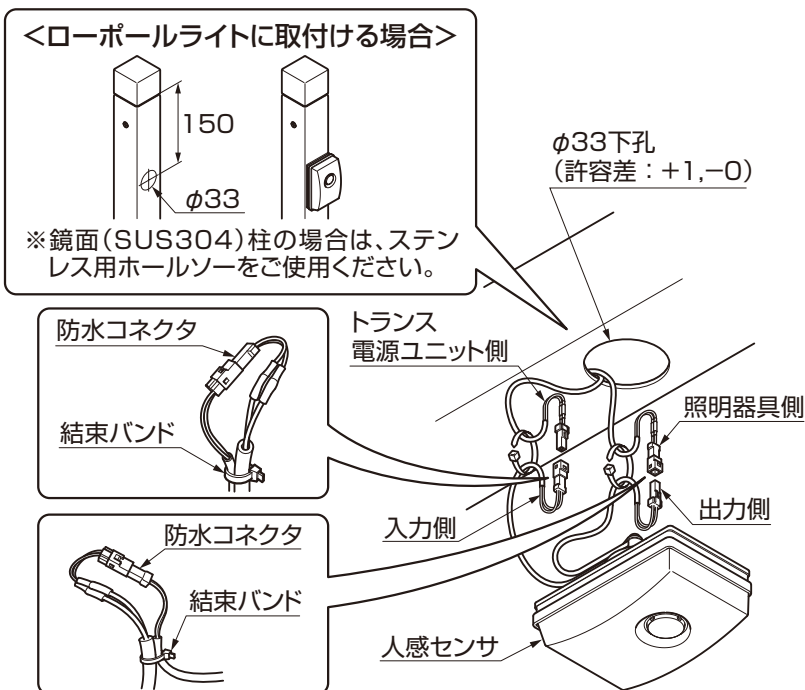
- ①トランス電源ユニット側のケーブルと照明器具側のケーブルをφ33配線孔から引き出します。
- ②トランス電源ユニット側のケーブルを入力側へ、照明器具側へつながるケーブルを出力側へ取付けます。
- ③それぞれのケーブルを結束バンドで固定してください。

ポイント

- 防水コネクタが抜けるのを防ぐため、必ず結束バンドで固定してください。
- ④人感センサ本体の取付バネをスタンドへはめ込んでください。

4. 天面・柱材への取付け

4-1 加工および人感センサの取付け

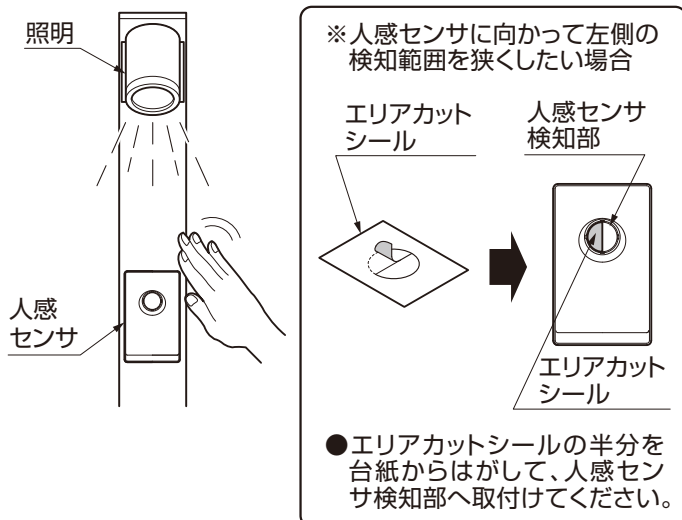


- ①取付けする天面(柱材)が条件を満たしていることを確認してください。
※板厚：0.8mm～3.0mm
埋込深さ：22mm以上
- ②φ33の下孔を加工してください。
- ③トランス電源ユニット側のケーブルと照明器具側の延長ケーブルをφ33孔から引き出します。
- ④トランス電源ユニット側のケーブルを入力側へ、照明器具側へつながる延長ケーブルを出力側へ取付けます。
- ⑤それぞれのケーブルを結束バンドで固定してください。

ポイント

- 防水コネクタが抜けるのを防ぐため、必ず結束バンドで固定してください。
- ⑥人感センサ本体の取付バネを天面(柱材)へはめ込んでください。

5. 人感センサの動作確認と検知範囲の調整



- ①トランス電源ユニットを常時ONにしてください。照明が30秒間点灯します。

補足

- 初期通電時および明るさセンサ起動時は、人感センサ検知に関係なく30秒間点灯します。
 - 人感センサの点灯時間のタイマー調整、連続点灯への切替はできません。
 - 人感センサ(熱線センサ)付照明器具との併用はできません。
- ②(30秒後)照明が消えたら、人感センサに近づき再度照明が点灯することを確認してください。
 - ③トランス電源ユニットの明るさセンサを設定してください。
 - ④検知範囲を狭くしたい場合は、エリアカットシールを貼り付けてください。

取説コード

Z586

JZ2632146A
201702A_1047
201810B_1047